

長野県とその周辺の地震活動

(令和8年2月)

令和8年3月19日
長野地方気象台

【地震活動概況】

1. 長野県とその周辺

2月に、県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震は7回（前月:13回）でした。2月の県内の最大震度は、4日02時15分 長野県中部の地震により松本市で、6日09時23分 長野県北部の地震により栄村で、それぞれ観測された震度2でした。詳細は「表2 2月に県内で震度1以上を観測した地震と各地の震度」、「2. 長野県内で震度を観測した主な地震」を参照してください。

表1 県内の震度別回数表（2月および2026年累計）

	震度1	震度2	震度3	震度4	震度5弱	震度5強 以上	計
2026年2月	5	2	0	0	0	0	7
2026年累計	11	8	1	0	0	0	20

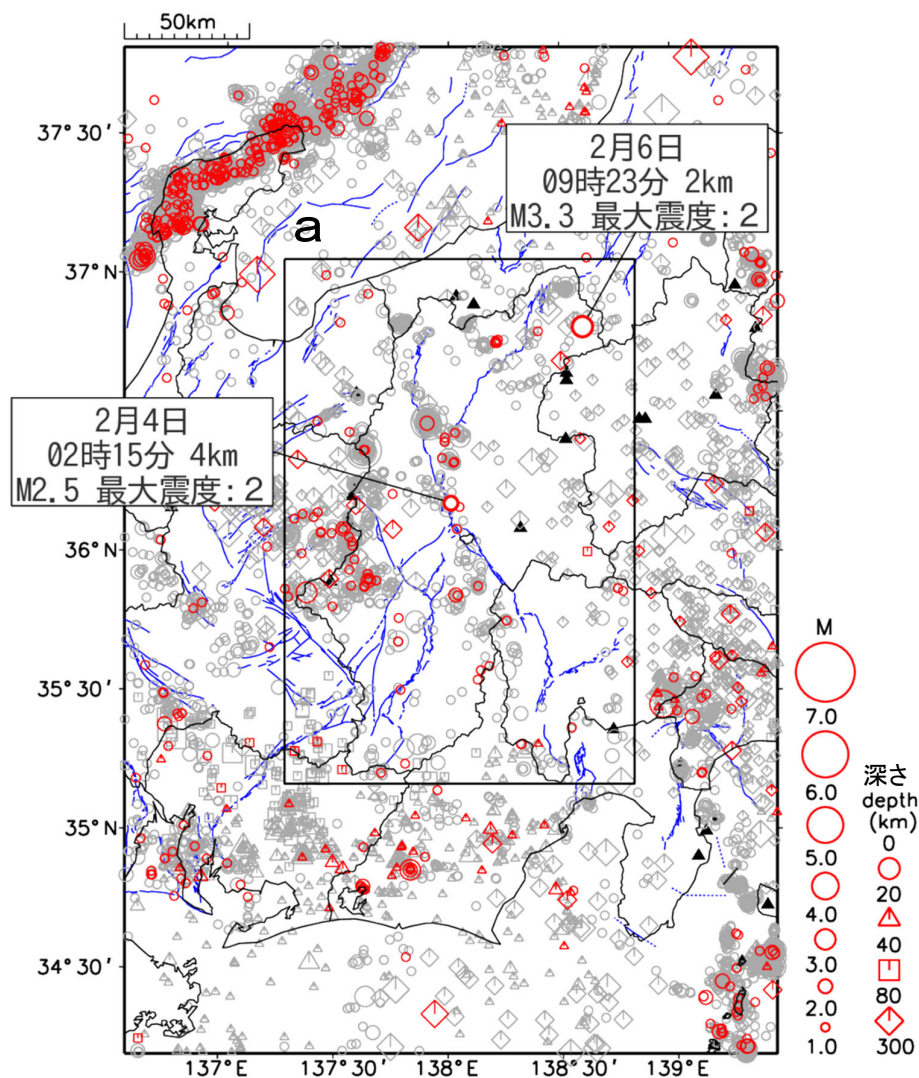


図1 震央分布図

(2025年3月1日～2026年2月28日、深さ0～300 km、M≥1.0)

2026年2月の地震は赤色で示しています。長野県において今月の最大震度となった地震に吹き出しを付けています。青色の線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示します。また、▲は活火山を示します。

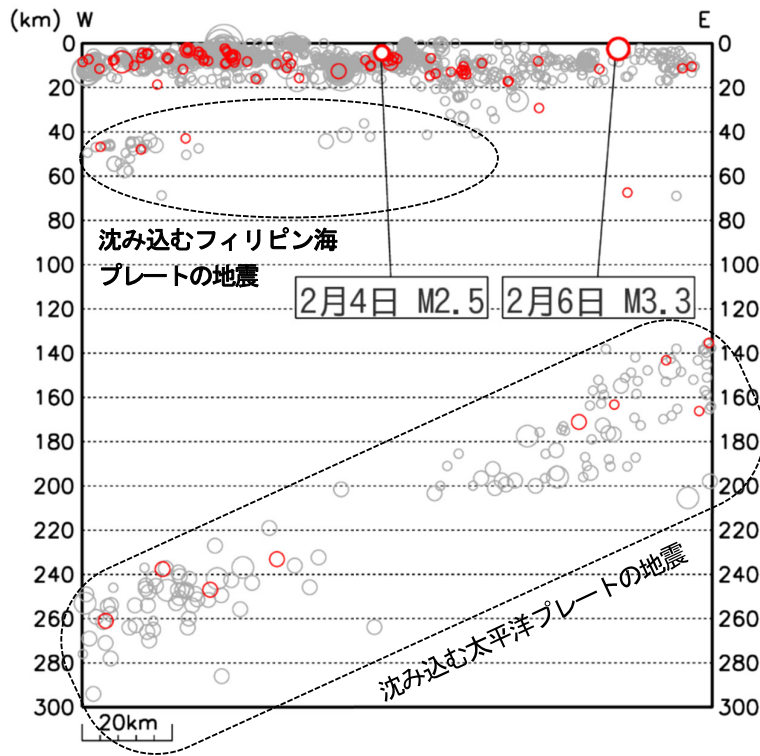


図2 東西断面図（図1の領域a内）

丸の大きさはマグニチュードの大きさを表しています。2026年2月の地震は赤色で示しています。

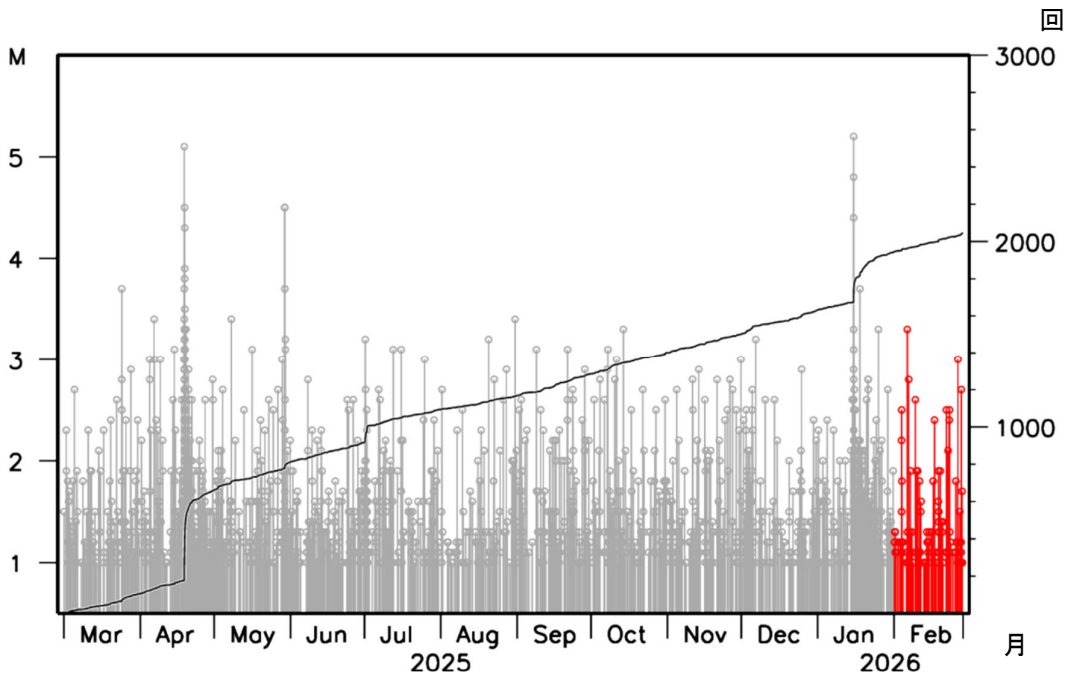


図3 地震活動経過図及び回数積算図（図1の領域a内）

地震発生日時と、マグニチュードの大きさを丸の付いた縦棒で表しています。横軸は年月で、マグニチュードの目盛を左側に示します。2026年2月の地震は赤色で示しています。折れ線グラフは地震の積算回数を表し、目盛を右側に示します。

表2 2月に県内で震度1以上を観測した地震と各地の震度

No.	年月日 時分 震央地名	緯度	経度	深さ	M
1	2026年02月04日02時15分 長野県中部 長野県 震度 2：松本市丸の内*、松本市寿* 震度 1：松本市沢村	36° 10.6' N	138° 00.7' E	4km	M2.5
2	2026年02月04日04時33分 長野県中部 長野県 震度 1：松本市寿*	36° 10.7' N	138° 00.6' E	4km	M1.8
3	2026年02月06日09時23分 長野県北部 長野県 震度 2：栄村小赤沢* 震度 1：飯山市飯山福寿町*、山ノ内町消防署*	36° 48.6' N	138° 36.0' E	2km	M3.3
4	2026年02月07日20時01分 山梨県東部・富士五湖 長野県 震度 1：佐久市下小田切、佐久市臼田*、小海町豊里*、長野川上村大深山* 長野南牧村海ノ口*	35° 27.0' N	138° 56.7' E	20km	M4.0
5	2026年02月11日17時36分 静岡県西部 長野県 震度 1：根羽村役場*、下條村睦沢*、泰阜村役場*	34° 51.4' N	137° 50.0' E	19km	M3.4
6	2026年02月26日22時54分 岐阜県飛騨地方 長野県 震度 1：木曾町新開*	35° 51.2' N	137° 22.4' E	8km	M3.0
7	2026年02月28日07時59分 長野県南部 長野県 震度 1：木曾町新開*、木曾町開田高原西野*、木曾町三岳*	35° 53.9' N	137° 38.7' E	6km	M2.7

*の地点は、地方公共団体(長野県、松本市、大町市、栄村)または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

各地の震度は、気象庁ホームページの「震度データベース検索」でも検索することができます。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqdb/data/shindo/index.php>

2. 長野県内で震度を観測した主な地震

令和8年2月4日 長野県中部の地震

4日02時15分 長野県中部の地震(深さ4km、M2.5)により、松本市で震度2を観測しました。その後、ほぼ同じ場所で同日04時33分に発生した地震(深さ4km、M1.8)により、松本市で震度1を観測しています。

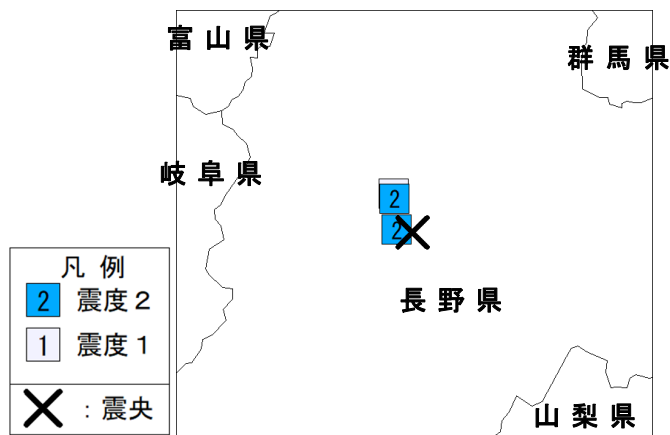


図4 2月4日 長野県中部の地震の震度分布図(地点別)

令和8年2月6日 長野県北部の地震

6日09時23分 長野県北部の地震（深さ2km、M3.3）により、栄村で震度2を観測したほか、飯山市、山ノ内町、群馬県、新潟県で震度1を観測しました。

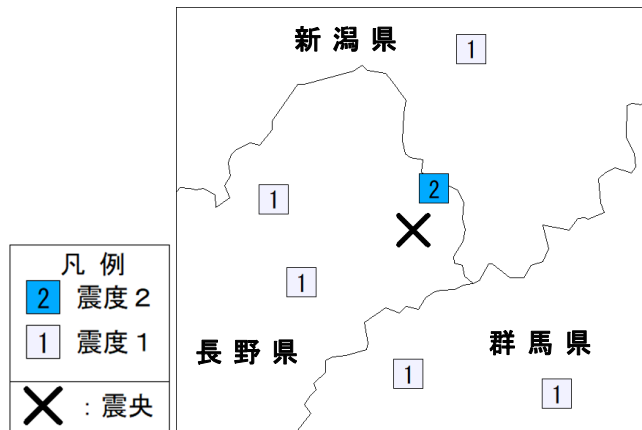


図5 2月6日 長野県北部の地震の震度分布図（地点別）

【南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会、地震防災対策強化地域判定会】

評価検討会、判定会は令和8年3月6日に行われています。現在のところ、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

・詳細はこちらから <https://www.data.jma.go.jp/svd/eew/data/nteq/index.html>

南海トラフ沿いの大規模地震（M8からM9クラス）は、「平常時」においても今後30年以内に発生する確率が高い（詳細は「南海トラフの地震活動の長期評価（第二版一部改訂）」*参照）と評価されており、昭和東南海地震・昭和南海地震の発生から約80年が経過していることから切迫性の高い状態です。

※地震調査研究推進本部HP https://www.jishin.go.jp/main/chousa/kaikou_pdf/nankai_3.pdf

本資料中、マグニチュードをMと略記しています。

気象庁では地震の震源、マグニチュード等を算出するにあたり、国立大学法人などの関係機関から地震観測データの提供を受け（注）、文部科学省と協力して処理を行っています。

また、震度の情報は、地方公共団体及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供された観測データを含めて発表しています。

（注）本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、2025年トカラ列島近海における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（平島、小宝島）、EarthScope Consortiumの観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

本資料は速報資料です。後日内容を変更する場合があります。

「長野県とその周辺の地震活動」は、長野地方気象台ホームページに掲載しています。

長野地方気象台 <https://www.data.jma.go.jp/nagano/>

問い合わせ先：長野地方気象台 地震担当（026-232-3773）